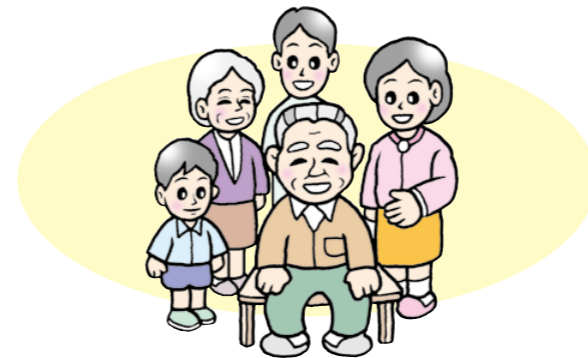


認知症の方を地域で支える

市は、認知症の方やその家族が「住み慣れた地域で、自分らしく暮らし続けることができる社会」を目指して、認知症の正しい理解の促進や、早期発見・早期対応ができるシステムの確立など、さまざまな取り組みを進めています。

さらなる増加が予測される認知症高齢者

認知症とは、脳の細胞が死んでしまったり、働きが悪くなることで、さまざまな障害が起こり、日常生活に支障が出ている状態のことを指します。



包括的な認知症対策の取り組み

市は、平成二十七年三月に策定した第七次市高齢者保健福祉計画において「認知症対策の推進」を取り組むべき視点の一つとして位置付けました。認知症の方とその家族や介護する方が、安心して生活できる社会を実現するため「認知症に対する正しい理解の促進」「早期発見・早期対応ができるシステム

国の調査によると、全国の認知症高齢者の数は、平成二十四年時点で約四百六十二万人に上り、平成三十七年には、七百万人に達すると予測されています。認知症は、決して特別な病気ではなく、誰にでも発症する可能性があります。

地域で支えるために認知症への理解を

認知症の方とその家族が、住み慣れた地域の良い環境で、安心して暮らしていくためには、地域で支えていくことが必要です。そのために、市民の皆さん一人一人が認知症についての理解を深め、誰もが健やかに楽しく生活できる社会を目指しましょう。

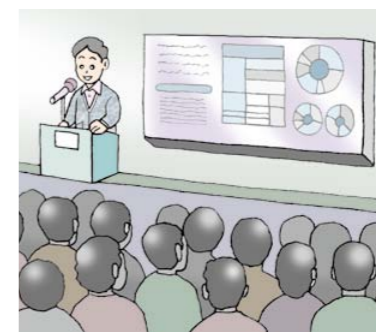
お問い合わせ

地域包括ケア推進課
事業推進係
☎ 22・7465

募集 認知症講演会2016の参加者

認知症の方への接し方や、家族の悩みを分かりやすく解説するほか、生活に生かせるアドバイスを行います。

- とき** 9月17日(土) 10時～16時
- ところ** 市文化センター
- 内容** 認知症サポーター養成講座 (10時～正午)、認知症講演会 (14時～16時)



申込方法 ハガキに住所・^{フリガナ}氏名・年齢・性別・電話番号を記入し、参加を希望する講座名・講演会名を明記して、〒970-8686 地域包括ケア推進課 (☎22-1289、✉chiikihoukatsu-care@city.iwaki.fukushima.jpも可)

申込期間 8月22日(月)～9月8日(木)必着

○認知症対策の取り組みの一例

認知症に対する正しい理解の促進

認知症あんしんガイドの配布

認知症に対する正しい知識と、認知症の症状に合わせた医療や介護のサービス内容、相談先などを掲載しています。

同課、各支所・地区保健福祉センターで配布しているほか、市ホームページでも公開しています。

認知症に関するさまざまな情報を掲載



認知症サポーター養成講座

認知症に対する正しい理解の促進のため、誰でも気軽に参加できる「認知症サポーター養成講座」を開催しています。

同講座では、認知症の症状や基本的な知識、認知症の方への接し方などについて、学ぶことができます。



定期的に行っている同講座

早期発見・早期対応ができるシステムの確立

認知症初期集中支援チームを設置

複数の専門職が、認知症が疑われる方や認知症の方などを訪問して、現状の確認や家族への助言を行うことで、自立生活をサポートします。



医師や看護師、保健師などの専門職で構成される同チーム

認知症初期スクリーニングシステム

～認知症簡易チェックサイト～

気軽に認知症のチェックができる「認知症簡易チェックサイト」を市ホームページ内に開設しています。

定期的な確認で、早期発見や早期の相談、専門医療機関への受診などを促します。

「わたしも認知症？」
(大友式 認知症予測テスト)



同サイトのチェック開始ページ

本人および家族介護者支援の充実

認知症カフェ事業「オレンジカフェ以和貴」

地域で認知症の方を支えるまちづくりを推進していくことを目的に、市内4カ所で定期的に行っています。

認知症の方とその家族が、認知症によって生じた生活の変化や不安などを、同じ立場の方と共有するとともに、地域の皆さんとの交流の場として機能しています。



専門職員への相談も可能

はいかい高齢者等SOSネットワーク

認知症による徘徊などで行方不明になった際に、不明者の情報を市防災メールを利用して配信することで、早期の発見や保護につなげます。

不明者情報の配信を希望される方は、市ホームページ内の「いわき市防災メール配信サービスのご案内」から登録を行い、配信項目の「徘徊高齢者情報」を設定してください。



市防災メール